

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス のんの		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一斉送迎ではなく、各児童に合わせた利用時間を設定し、送迎を行っている。	面談時に保護者と相談し、各児童の過ごせる時間で利用時間を設定している。	兄弟でのご利用の場合、利用に慣れてきてから別日での利用を促し、利用時間や曜日を設定している。
2	グループ内に相談室、就労継続支援B型がある。高校3年になると希望者は就労支援B型で作業体験を行うことができる。	就労継続支援B型の職員に事前に作業体験を行う児童の情報を共有し得意な事、苦手な事を伝え、取り組む作業に反映してもらっている。 作業体験を通じ働く事のイメージに繋がるよ取り組んでいる。	保護者との面談時に就労継続支援B型の支援員からフィードバックを元に書面にて作業の様子をお伝えしている。 作業体験終了時にはお礼状を書き、実際に実習に出た際にも書く場面がある事のイメージに繋げている。
3	家族支援加算の面談を個別支援計画更面談の間に入れ、保護者との面談の期間が、あまり開かないように設定している。	個別支援計画更新の面談以外でも、定期的に各ご家庭の様子をお聞きし、状況の把握に繋げている。	保護者からのご希望があれば、いつでも面談を行う体制を整えている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の2階に事業所があるため、自力もしくは職員の軽介助で階段の昇降ができる事が利用の要件となっている。	1階は就労継続支援B型事業所として使用しているため	
2	送迎車が軽自動車ため、冬季間の送迎に影響が出る事がある。	大勢での乗り合わせが苦手な児童の対応や、各児童の利用時間に合わせ送迎車で一斉送迎をしていないため	
3			